

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場はFOMCに大きく振らされる展開でした。朝方はFOMCでテーパリングが開始されるとの噂からドル高買いとなり前日比レアル安の2.32台後半で始まりました。11月の経常収支が市場予想を上回る赤字となると2.33台へレアルは続落、FOMC声明文発表を前に一時2.34台後半までドル高レアル安となりました。その後、月間100億ドルのテーパリング開始が発表されると売買が交錯したものの「インフレが2%以下ならば、失業率が6.5%以下でも利上げはしない。」とフォワード・ガイダンスを強化したため、株式市場は好感して結局リスクオン相場となり、レアルも大きく買い戻されて2.31台後半へレアル高となりました。引けにかけてはポジション調整から2.33近辺へ戻して引けています。

FOMCは市場に過度な動搖を与える前にテーパリングを開始することに成功しました。フォワード・ガイダンスを上記のように強化したため、市場にも利上げは当分先に行われることが浸透したようです。今後も米当局による緩和縮小と利上げの切り離しが市場からの信認を得られるのか注目です。

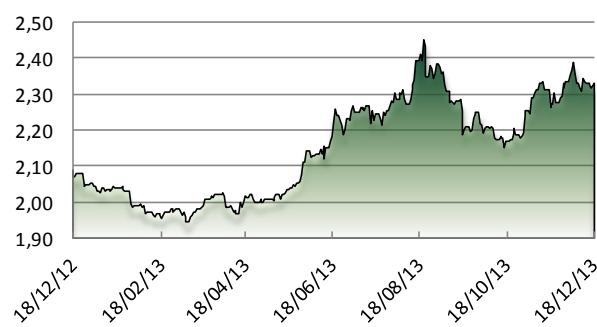
中銀は来年からの介入プログラムを1日当たり2億ドルに減額して6月末まで延長すること及び来年の経常赤字予想を今年とほぼ同額の780億ドルと発表しました。FOMC後にも混乱が少なかったため介入減額に踏み切ったと思われますが、高水準の経常赤字が続くと予想しているなか懸念が残ります。市場はFOMCの措置に安堵感を持っていますが、ブラジルの状況は引き続きレアル安を示唆していると思われます。

マーケットデータ

Indicator	Unit	12月17日	12月18日	前日比	11月18日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	44,26	44,73	+0,47	44,17	+0,56
USD / BRL Spot	BRL	2,3195	2,3314	+0,0119	2,2639	+0,0675
USD / JPY Spot	JPY	102,67	104,29	+1,62	99,99	+4,30
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	50.090	50.563	+473	54.307	-3.744
CDS Brazil 5yrs (クレジット・フルトスワップ)	bps	185,3	176,8	-8,5	186,3	-9,5
Brazil 5yrs Gov. Bond	%	12,48	12,47	-0,01	11,96	+0,51
DI Future Jul14 (金利先物)	%	10,20	10,21	+0,01	10,35	-0,14
3 Months US Dollar Libor	%	0,244	0,245	+0,001	0,237	+0,008
CRB Index (国際商品指数)	Index	279,6	280,2	+0,6	272,9	+7,3

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

